

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学部4学科体制と連動し、総合政策という本研究科の教育目標を実現するため、大学院の授業科目体系の再編成を2010年度中に検討し、2011年度より新しいカリキュラムへ移行する。	→学部4学科と連動した大学院授業科目の再編成・再体系化の有無。	A	A	A		
2. 上記1で掲げた目標の中で、大学院の授業科目体系に、英語修了コース、教職科目、EU連携コース科目を適宜、配置する。	→英語修了コース、教職科目、EU連携コース科目の再編・配置の有無。	A	B	B		
3. 上記1で掲げた目標の中で、総合政策の研究・論文執筆に必要な基礎的方法論および理論を習得するための授業科目を、適宜、配置する。	→総合政策の研究・論文執筆に必要な基礎的方法論および理論を習得するための授業科目の配置の有無および履修者数。	A	A	A		
4. 上記1で掲げた目標の中で、リサーチ・プロジェクト(課題研究)を、本来の研究プロジェクトのもと、複数教員・複数院生が参加する形で行われるよう、授業科目としての履修および運営方法を再考する。	→リサーチ・プロジェクト(課題研究)の運営方法の変更の有無。	A	A	A		
5. 上記1で掲げた目標の中で、大学院の授業体系の中に新たに「災害復興コース」を設置する。また、2013年度より一級建築士の受験資格となるインターンシップの科目を設置する。	→「災害復興コース」の登録者数、および一級建築士インターンシップの登録者数。	B	C	B		
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2010年度の検討結果を踏まえて、2011年度入学生より新しいカリキュラムで教育・研究を行っている。学部4学科がそれぞれ柱とする、公共政策、環境政策、言語文化政策（以上総合政策学科）、都市政策（都市政策学科）、国際政策（国際政策学科）、メディア情報（メディア情報学科）の6領域からひとつを主領域として選択する。
目標2	英語修了コース、教職科目配置については2011年度のカリキュラム改正に合わせて運用を開始した。ただしEU連携コースについては未運用である。
目標3	2011年度のカリキュラム改訂により、上記「目標1」の進捗状況で示した主領域設定とともに、「政策基礎」「政策研究」を必修科目とし、研究・論文執筆に必要な基礎的方法論および理論を修得させている。必修科目であり、前期課程すべての学生が履修している。
目標4	2011年度よりリサーチ・プロジェクトを、専門が異なる複数教員によるプロジェクト提案型の実践的演習として実施している。2011年度春学期は5テーマ（うち4テーマは履修者ゼロのため不開講）、同秋学期は3テーマ（うち1テーマは履修者ゼロのため不開講）で開設した。また2012年度春学期は4テーマ（うち1テーマは履修者ゼロのため不開講）で開設した。
目標5	2012年度は一級建築士インターンシップ科目に3名が登録した（2011年度は1名）。災害復興コースは、2012年度中に学生のニーズを確認しながら、実施の時期を決定する。なお現在防災をテーマとした修士論文、博士論文を執筆中の大学院生がおり、2012年度中には博士学位を取得見込みである。
備考	